

## 技術と社会部門 2013 年度部門賞報告

### 2013年度部門賞および部門一般表彰報告

池森 寛(もと西日本工業大学)

技術と社会部門では、部門に関連する研究と活動の進展を促進するために、部門賞および部門一般表彰を設けています。

2013年度の部門賞および部門一般表彰につきましては、会員の皆様からの推薦をもとにして、第91期(2013年度)表彰委員会〔委員長:星 朗(東北学院大学)〕で審議・選考され、2014年5月1日(木)の部門第1回運営委員会において決定されました。

贈賞式・表彰式は、2014年11月15日(土)開催の2014年度技術と社会部門講演会(豊橋)の懇親会の席上で行われました。

受賞者、表彰者は以下の方々です。

#### 部 門 賞

##### 部門功績賞 (Technology and Society Award)

贈 賞 者 : 綿貫啓一 君 (埼玉大学)

##### [贈賞理由]

綿貫啓一君は本会正員・フェローであり、専門分野における開発的研究において優れた業績を積み、その成果を教育面に的確に還元されている国内外で知名度の高い学者である。

とりわけ技術と社会部門においては「経営と技術移転に関する国際会議」(ICBTT)開催の主担当として長く貢献され、本部門の2012年度功績賞を受賞されたイギリス・ニューカッスル大学のJ. F. ウイルソン教授と緊密な連絡をとり、現地にも何度か出向いて会議を持つなど、確実な行程管理を継続的に行いながらこれまでの開催を常に成功に導いてきた。部門の国際的活動に果たした功績は多大といえる。

#### 部門一般表彰

##### 優秀講演論文表彰 (Technology and Society, Certificate of Merit for Outstanding Presentation)

表彰者:阿部慶子 君(一関工業高等専門学校、現在 日本アドバンステクノロジー(株))

対象論文:阿部慶子(一関高専)・藤田義彦(名護珈琲),「コーヒーの起源伝説から飲料になるまでの産業史」

発表日 2012年度技術と社会部門講演会(秋田)11月24日、秋田工業高等専門学校。

##### [表彰理由]

本論文は、嗜好品として我々に安らぎと癒し、集中力とひらめきを与えてくれるコーヒーについて、起源伝説に始まってコーヒーの飲用方法の歴史的、地域的違いに至るまで、技術・産業史的にたいへん良く纏められている。また、発表ではコーヒーの起源伝説について語り部口調で紹

介したうえ、会場に実際にコーヒーミルを持ち込んで実演するなど、視覚・聴覚・臭覚に訴えかけるプレゼンテーションが印象的であった。

さらに筆者は、自らもコーヒーインストラクターの資格を取得して美味しいコーヒーをコーディネートすることにチャレンジするとともに、「コーヒー豆粉碎時における熱発生および熱伝達挙動の解析」といった工学的見地からの研究に取り組むなど、今後の研究の発展および成果が期待できる。さらに、筆者の取り組み内容は、2013年7月31日に開催された当部門第162回イブニングセミナー「コーヒーを香りから愉しむ」においても講演を頂いている。

以上により、将来を嘱望される筆者の当該論文は、技術と社会部門の優秀講演論文に値する。

---

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

---

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.32

(C)著作権:2015 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門